

FOE 500  
I.D.S

⑪ 日本国特許庁 (JP)

⑫ 特許出願公開

⑬ 公開特許公報 (A)

昭59—228454

⑭ Int. Cl.<sup>3</sup>

H 04 M 1/274  
1/56

識別記号

庁内整理番号

7251—5K  
7251—5K

⑮ 公開 昭和59年(1984)12月21日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑯ 番号照合方式

⑰ 発明者 鈴木道夫

川崎市中原区上小田中1015番地  
富士通株式会社内

⑱ 特 願 昭58—103153

⑲ 出 願 昭58(1983)6月9日

⑳ 出 願 人 富士通株式会社

㉑ 発 明 者 北島隆一

川崎市中原区上小田中1015番地

川崎市中原区上小田中1015番地  
富士通株式会社内

㉒ 代 理 人 弁理士 松岡宏四郎

# 明 細 書

## 1. 発明の名称

番号照合方式

## 2. 特許請求の範囲

表示装置及び釦又はキー入力制御装置を備えた電話端末に於いて、通話中に前記釦又はキーを操作することにより、予め前記釦又はキーに対応して記憶されている電話番号を選択表示することを特徴とする番号照合方式。

## 3. 発明の詳細な説明

### (a). 発明の技術分野

本発明は表示装置及び釦又はキー入力制御装置を備えた多機能電話端末に係り、特に通話中に第三者の電話番号を知ることが出来る番号照合方式に関するものである。

### (b). 従来技術の問題点

従来の電話番号の照合は、通話中の相手に限定されており例えば通話中の相手から「誰々は何番ですか」との問い合わせに対しては、電話帳を調べて答える方法しかなく操作が煩わしいと云う欠

点があった。

### (c). 発明の目的

本考案の目的は従来技術の有する上記の欠点を除去し、表示装置及び釦又はキー入力制御装置を備えた電話端末を使用して通話中に第三者の電話番号を容易に調べることが出来る番号照合方式を提供することである。

### (d). 発明の構成

上記の目的は本発明によれば、表示装置及び釦又はキー入力制御装置を備えた電話端末に於いて、通話中に前記釦又はキーを操作することにより、予め前記釦又はキーに対応して記憶されている電話番号を選択表示することを特徴とする番号照合方式を提供することにより達成される。

### (e). 発明の実施例

第1図は本発明の一実施例を示すブロック図である。図中1はオートダイヤル釦又はキー装置、2は番号表示装置、3はオートダイヤル釦又はキー読み取り制御装置、4は表示駆動回路、5はマイクロ・プロセッサ、6はメモリ、7は電話回路

網を制御する制御回路、8は交換機と制御信号をやりとりする交換機制御装置、9は送受話器である。尚EXは交換機を表す。

以下図に従って本発明の詳細を説明する。

通常のオートダイヤル発信操作では、先づ送受話器9を上げて発信音を確認後、オートダイヤル鉤又はキー装置1(氏名条片付き)の何れか一個の鉤を押すとオートダイヤル鉤又はキー読み取り制御装置3が動作し、マイクロ・プロセッサ5が此れを確認し、押された鉤に対応する相手番号例えば"3280"をメモリ6から取り出し、選択信号として制御回路7を経由電話回線にダイヤル・パルスを送出するか、又は交換機制御装置8より交換機に選択信号として送信する。

此の時変換した選択信号は表示駆動回路4経由で番号表示装置2に表示されるので、扱者は何処へダイヤルしたかを識別出来る。

或る相手と通話中の時、端末のマイクロ・プロセッサ5は電話回路の状態を読むことにより、通話中か否かを判別出来る。従って今通話中の相手A

から他のBと云う人の電話番号を問い合わせて来た時、先づBと云う人に対応した鉤又はキーがオートダイヤル鉤又はキー装置1(氏名条片付き)に在るか否かを氏名条片を見て確認し、若し在る場合は其の鉤又はキーを操作する。

此の操作によりオートダイヤル鉤又はキー読み取り制御装置3が動作し、マイクロ・プロセッサ5は此れを読み取り、今の状態が通話中であることを確認し、押された鉤に対応する相手番号例えば"3280"をメモリ6から取り出し、番号表示装置2に表示する。扱者は此の番号表示装置2に表示されている番号を見て通話相手Aに伝えることが出来る。

此の様にマイクロ・プロセッサ5により、通話中は番号表示装置2に表示するのみとし、通話中ではない時は前述の様に電話回線にダイヤル・パルスを送出するか、又は交換機制御装置8より交換機に選択信号として送信する。

第2図はメモリ6の記憶内容の一実施例を示す図である。

3

4

図に於いて、a・i・nは鉤を表し、其の右の数字は其れに対応した電話番号を表すものであり、例えばiに対応する電話番号は3280である。

#### (1). 発明の効果

以上詳細に説明した様に本発明によれば表示装置及び鉤又はキー入力制御装置を備えた電話端末を使用して通話中に第三者の電話番号を容易に調べることが出来ると云う大きい効果がある。

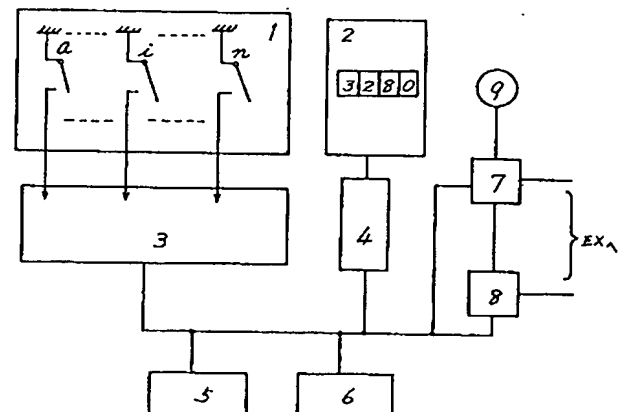
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示すブロック図である。

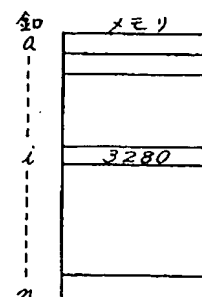
第2図はメモリ6の記憶内容の一実施例を示す図である。

図中1はオートダイヤル鉤又はキー装置、2は番号表示装置、3はオートダイヤル鉤又はキー読み取り制御装置、4は表示駆動回路、5はマイクロ・プロセッサ、6はメモリ、7は電話回路、8は交換機制御装置、9は送受話器、EXは交換機を表す。

第1図



第2図



5